

肝炎ウイルス検診のお知らせ

(申し込み制)

肝臓がんは、その原因の約8割をB型やC型肝炎ウイルスが占めており、年間約3万人の方が肝臓がんで亡くなっています。肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、肝炎ウイルス検査を受けない限りわかりません。早期に診断・治療を受けることにより、肝臓がんへの進行を防ぐことが期待できるようになりました。これまでに検査を受けたことのない方は、早めに検診を受けましょう。

検査費用 無 料

対 象 16歳以上の区民の方
(過去に区の助成を受け検査を受けたことがある方は対象外です。)

検査内容 血液検査です。採血のみのため、検査時間は短時間で済みます。

検査結果 結果日は、医療機関受診(検査)の際にご確認ください。

検査場所 区内指定医療機関

受診方法 下記申込み先に電話でお申し込みください。お申し込みをされた方に、肝炎ウイルス検診受診票・実施医療機関一覧等をお送りしますので、有効期限内に受診してください。

まだ肝炎ウイルス検査
受けてないの？
肝炎ウイルス検査へGO!



〔申込み・問合せ先〕 **すみだ けんしんダイヤル**

電話：03 - 5608 - 1599

受付時間は月曜日～金曜日の午前9時～午後6時(祝日・年末年始を除く)

ウイルス性肝炎 Q&A

Q1 . ウイルス性肝炎とはどのような病気ですか？

ウイルス性肝炎とは、ウイルスの感染により肝臓が炎症を起こすことをいいます。主な症状は、体がだるい、食欲がない、吐き気がする、黄疸が出るなどですが、症状が軽かったり出ない場合も多く本人が気づかないこともあります。感染した人が、治療を受けずにそのまま放置すると、慢性肝炎、肝硬変、肝臓がんに進行する可能性があります。

Q2 . 肝炎ウイルスはどういう場合に、感染するのか？

主に血液により感染します。ウイルスの検査法が確立する以前には、ウイルスが含まれた血液の輸血、ウイルス感染している人と注射器や注射針の使い回しなどで感染したことが判っています。また、予防対策が確立される前は、B型肝炎ウイルスに感染している母親から出産時等に赤ちゃんへ感染することもありました。B型肝炎ウイルスに感染している人との性的接触によっても感染します。ただし、握手、抱き合う、食器を共有する、一緒に入浴するなど感染することはありません。

Q3 . 感染が判った場合、どうするか？

検査の結果、肝炎ウイルスに感染していることが判ったら、早めに専門の医療機関を受診して、現在の肝臓の状態をチェックしてもらいましょう。必要に応じて適切な治療を受けることができ、肝硬変や肝臓がんへの進行を防ぐことが可能です。近年の医療や薬の進歩によりほとんどの人が治療可能な病気となってきました。ご自身の健康を守るため、まず医療機関を受診しましょう。

肝臓チェックしてみよう!

1つでも当てはまる方は、検診を受けましょう。

最近、疲れやすく、食欲がない。また微熱が続いている。

1988年(昭和63年)以前に生まれている。

過去に、大きな事故やけがで手術を受け、輸血したことがある。

医療機関以外でピアスの穴をあけたり、入れ墨(タトゥー)を入れたことがある。

他人の歯ブラシやカミソリなどを使用して生活したことがある。

ご家族に、B型・C型肝炎ウイルスに感染した方、肝硬変や肝臓がんの方がいた。

異性又は同性との性的接触で、コンドームを使用していないことがある。

健康診断などの肝機能検査(AST、ALTなど)で異常値を指摘されたことがある。

これまでにB型・C型肝炎ウイルス検査を受けたことがない。